

つながり

支え合いの

まちづくり



赤平市の地域共生社会実現のために

発行者:あかびら共生ネットワーク
(通称:あかネット)
2024年2月 製作

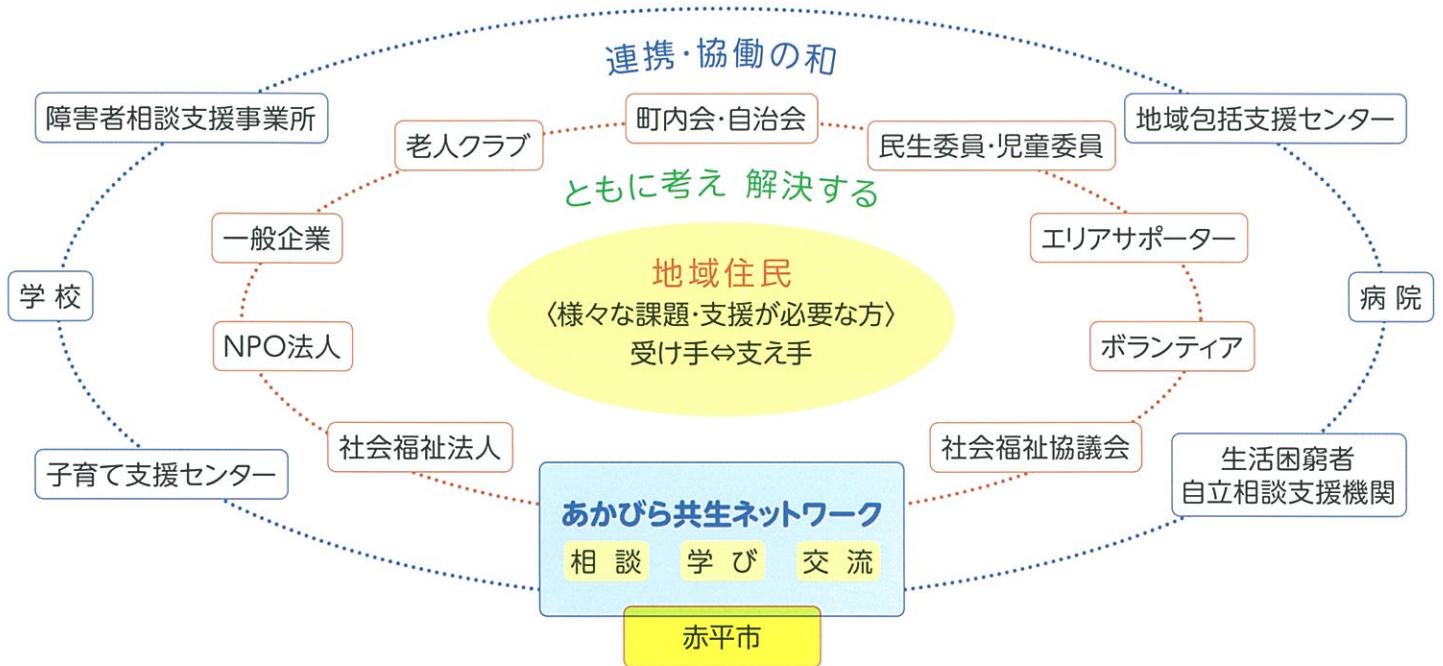
北海道社会福祉総合基金助成事業

地域共生社会ってどんな社会？

地域共生社会とは、年齢や性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が自分らしく幸せに暮らすことのできる社会のことです。

そのために住民同士がつながり、支え合うことが大切です。

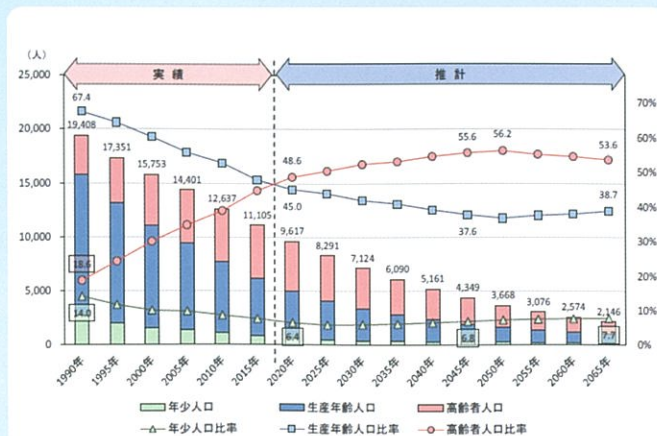
赤平市地域共生福祉ネットワーク概念図



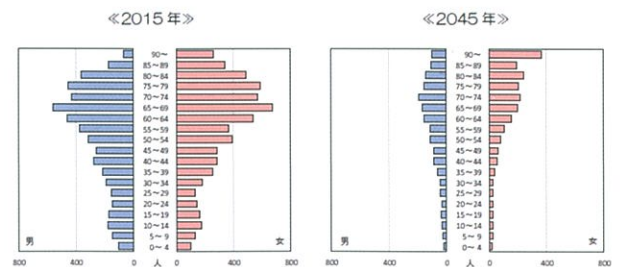
データで見る赤平市の今とこれから

高齢者人口の増加により、医療や介護のさらなる需要増加が見込まれます。一方で、支える側の生産年齢人口は減少するため、社会保障制度の維持については、制度の再構築等の必要性が高まります。

また、元気な高齢者を増やすため、趣味や生きがいを持って地域で活躍できるような環境を整える施策や取り組みが望まれます。



年少・生産年齢・高齢者人口の推計



65歳以上1人を現役何人で支える

1.1人 → 0.6人

75歳以上1人を現役何人で支える

1.9人 → 0.9人

(国勢調査、将来推計は社人研による推計)

ひとり暮らし高齢者世帯数の推移

人と人がつながる地域づくり



高齢者や障がい者、子どもなど、すべての人が住み慣れた地域で共に支え合いながら、自分らしく幸せに暮らすためには、改めて人と人とのつながりを見直し、地域の問題を「我が事」として考えていくことが大切です。

地域に住む人を知ることは、人と人がつながり、支え合う地域をつくるはじめの一步です。まずは今できることから始めてみませんか。



交流して地域に住む人を知る

あなたとの交流で元気になる人がいます。世代や性別などを超えて交流することで、地域に住む人を知ることにつながります。気軽にできることから始めてみましょう。

- 日ごろからあいさつをする。
- 自治会やサークルに加入する。
- 地域の様々なイベントに参加する。



気付いて見守る

日頃からの交流は、地域の人を見守り、変化に気付くことにつながります。気になることがあったら、声を掛けてみましょう。

- 頻繁に子どもの泣き声がある。
- 郵便受けに郵便物がたまっている家がある。
- ひとり暮らしの高齢者の〇〇さんを最近見かけない。



お互いに支え合う

いつかはあなたも支えられる側になるかもしれません。気付きを支援につなげ、支え合うことが大切です。

- 育児に悩んでいる人がいるから相談に乗ろう。
- 障がいのある人が困っているようなので、お手伝いできることがないか聞いてみよう。
- 地域の人が集まって交流できるイベントを企画しよう。



畠山赤平市長に聴きました～つながり支え合う地域づくりに向けて～

一畠山市長が表明している「思いやりと助け合い共生のまちづくり」についてお聞かせください。

私の所信表明の時のことばですね。私の信条として「立場の弱い人を大切にする」というのが根底にあって、人として一番大事な部分だと思っています。基本的な考え方としては、あかネットと同じような方向性ではないかと感じています。

一あかネットが提言している「縦割りを見直し、だれもが相談できる窓口」の設置についてはいかががお考えですか。

縦割りについては専門性の部分も必要であり、総合相談窓口はできれば設けていきたい思いはありますが、本当に機能するのか検討していきたいところです。高齢者の総合相談は地域包括支援センターの仕組みがありますが。

一高齢者だけではなく、引きこもりやヤングケアラー等複合的な相談体制が必要だと考えていますので、ぜひ検討を進めていただきたいと思います。

一「世代や属性を超えて市民が交流・参加・学びができる場所」の創設についてはいかががお考えですか。

集える場所があった方が良いとは思いますが。ただし各地域に設置するとなると財政状況等考えると



中々難しい。町内会役員のなり手不足や町内会館の維持などの課題もありますが、集える場所の設置は必要かと考えています。

一今後あかびら共生ネットワークに期待することは何かありますか。

ゴミ拾い、ふれ愛ウォーク等ちょっとしたきっかけづくりが重要な取り組みと思います。これからも継続していただきたいと思ひますし、私もイベント等に参加して直接市民の方々の話を聴いていきたいと考えています。

一最後に赤平市民の皆様にメッセージをお願いします

私も所属しているエリアサポーターが増えると地域の中での見守りの目が増えて、さりげなく気にかけてあげることが大事であると思ひます。

また、私の根本的な考え方は、ほとんど困ったという市民を一人でも少なくしたいということです。これからも市民の方々の声に耳を傾け、努力していきたいと考えています。

一本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。これからも行政と協力し合って暮らしやすい地域づくりを進めたいと思ひますので、引き続きご協力をお願いいたします。



赤平にはこんな活動をしている人たちがいます

文化的活動

赤平美術協会



年一回文化祭や展覧会への出品をしています。絵を描くのが好きな方の入会を募集しています。
☎32-3860(代表 中野)

赤平短歌連盟



月一回第3日曜日にみらいで歌会を開催、春の連盟短歌大会、秋の市民短歌大会、年一回「歌誌あかびら」の発行をしています
☎32-5509(事務局 河崎)

赤平俳句連盟



月一回第3日曜日東公民館で句会開催、年一回の吟行、市民俳句大会等活動しています。
☎32-2043(代表 瓜)

赤平写映会



11人の会員で活動しております。月に1度例会を行い、四季折々の撮影および宿泊による撮影をおこなっております。皆さん一緒に写真を撮りませんか、会員募集中です。
☎080-1860-2266(会長 西)

赤平カラオケ連合会



月二回コミュニティセンター別館で練習実施、発表会やカラオケ大会・歌謡ショーへの参加をしています
☎37-2011(代表 棟方)

赤平火太鼓保存会



全国大会を目指しながら、年間市内外で20数回演奏しています。練習は毎週火・木曜日18:30~2時間東公民館で行っています。対象は小学生~高校生まで(大人も可)
☎090-8896-2712(副会長 竹村)

赤平コミュニティガイドクラブTANtan



ガイドなどを通じて炭鉱遺産を活用したまちづくりをする団体です
<https://www.facebook.com/zuriyama>

スポーツ活動

赤平レクリエーション協会



軽スポーツ、健康踊り、小旅行、料理講座、交流会など月1回の例会を続け、楽しんでおります。年齢制限はありません、入会お待ちしています。例会：第3木曜日午後1~3時、年会費2,000円
☎090-8277-3842(尾崎)/090-8907-6554(山本)

赤平レッドレイズ



小学1~6年生の子供たちが所属、週2~3回、2時間の練習をしています。所属していた高島泰都君がプロ野球のオリックスに入団しました。
☎090-1646-6011(監督 萩原)

赤平テニス協会(硬式)



テニスを通じて楽しく健康増進！(5月~10月)毎週土日7:30~市営テニスコート(11月~4月)毎週月曜日19:00~総合体育館
☎090-6440-7515(宇戸)

赤平ゴルフ同好会



年間7回のコンペを行っています。老若男女、技量を問わず、親睦とマナーの向上を目的に楽しく活動しています。
☎32-6945(会長 白川)

赤平ラビカ体操会



赤平から「全国ラジオ体操連盟公認指導士」が数多く誕生！会員募集中です。
☎32-5566(窓口 黒坂)

スポーツウェルネス吹き矢 赤平支部



健康を目的とした新しい国民的スポーツです。第2土曜日、第3木曜日に夏期9:00~、冬期10:00~ふるさと会館で練習をしています。
☎090-5955-2630(支部長 伊藤)

楽しそうだなーと思ったら
あなたもいかがですか？

ボランティア活動

NPO法人赤平市民活動支援センター



「場を作る」[橋渡しする]をモットーに市民活動の支援団体として2003年から様々な活動を続けています。

手話の会



私たちは、ろう者の言語である手話を学び、聞こえないという個性を理解し合い、お互い楽しく交流している会です。
☎32-6646(事務局 河村)

かあさん食堂ぼらん亭



あかびら市立病院の院内食堂です。特に人気なのが日替わり弁当です。ご来店お待ちしております。

赤平市ボランティアセンター



各地域で「地域交流会ふきのとう」を開催しています。送迎も行いますのでお気軽にご参加ください。
☎32-5566

相談できる人・場所がすぐそこに

それぞれの機関で受け付けた相談は、必要に応じて関係機関が連携して支援を行うことが求められます。そして今後増えるであろう複雑な問題を抱える人の相談に寄り添い、誰もが相談しやすい体制づくりが必要となります。

赤平市社会福祉課

高齢者福祉、障害者福祉、生活保護、ひとり親・児童福祉、児童館、子ども手当、保育所、乳幼児医療給付他の業務を行っています。

☎(0125)32-2216

社会福祉協議会

地域住民・ボランティア・福祉施設、保健医療関係者などが連携・協働し、行政とも連携を図りながら地域福祉を推進しています。

☎(0125)32-1015



エリアサポーターの方々と連携して、地域の課題に取り組んでいます。

地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の皆さんがいつまでも住み慣れた街で、自分らしい生活を継続するための、総合相談窓口となっています。

☎(0125)32-0661



そうだんのていく

基本的には障がい者の計画相談業務を行っていますが、地域の方々が集まる場所の提供やあかネットの事務局の役割を担っています。

☎(0125)74-6350



主任ケアマネジャー、社会福祉士・保健師などの専門職が高齢者の皆さんやご家族のさまざまな相談に応じています。

子育て支援センター

子育てに関する不安や悩みのご相談のほか、親子で自由に遊び、交流する場として、ふれあいルームを開放しています。

☎(0125)32-3551

民生委員・児童委員

地域住民の話を聞き、福祉や育児などの相談に乗り、必要な場合は役所などの関係サービス機関と橋渡しをする仕事です。

☎(0125)32-2216(地域福祉係)

あかネットは誰でも何でも気軽に相談できる窓口の設置を目指しています

あかびら共生ネットワーク事務局

住所 赤平市大町2丁目1番地5(そうだんのていく内)

TEL 0125-74-6350(担当:佐藤)

E-mail soudan-teiku2@koseisha.or.jp



Instagram
あかネット
akabirakouseinet



YouTube
あかネットチャンネル
@Akanet_Akabira